

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成26年度 第1回入間市文化財保護審議委員会
開 催 日 時	平成26年6月27日(金) 午後1時30分開会・午後3時30分閉会
開 催 場 所	入間市博物館 会議室
議 長 氏 名	㊟枝窪 邦茂
出席委員(者)氏名	㊟枝窪 邦茂 ㊟鹿島 英明 田代 甲平 渡邊 久芳 法隆 康一 大河内 隆徹 柳澤 かほる 林 宏一 梅津 久昭
欠席委員(者)氏名	大館 勝治
説明者の職氏名	博物館主幹 齊藤祐司 同主査 大久保 卓
会 議 次 第 (<u>公開</u> ・非公開の別)	<p>1 委嘱式</p> <p>(1) 開 会</p> <p>(2) 委嘱状の交付</p> <p>(3) 教育長あいさつ</p> <p>(4) 館長あいさつ</p> <p>(5) 委員紹介</p> <p>2 文化財保護審議委員会</p> <p>(1) 文化財保護審議委員会の運営について</p> <p>(2) 正副委員長の選出</p> <p>(3) 正副委員長のあいさつ</p> <p>(4) 議 題</p> <p>(ア) 平成25年度文化財保護事業及び活用状況の報告について</p> <p>(イ) 平成26年度文化財保護事業及び活用の計画について</p> <p>(ウ) その他</p> <p>(5) 報 告</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉 会</p>

非公開理由	
傍聴者数	0人
配布資料	平成26年度 第1回入間市文化財保護審議委員会資料
事務局職員氏名	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習部部長 福田 光嘉 ・生涯学習部次長 宮岡 利幸 ・生涯学習部博物館館長 黒澤一雄 ・博物館副館長 宮臣 敏夫 ・同主幹 齊藤 祐司 ・同主査 大久保 卓 ・同主任 工藤 宏 ・同主事 長谷川 奈美
会議録作成方法	筆記

会 議 録 (2)

議事の概要 (経過) ・ 決定事項	
議 題	<p>2 (4) 議 題</p> <p>(7) 平成 2 5 年度文化財保護事業及び活用状況の報告について</p> <p>(1) 平成 2 6 年度文化財保護事業及び活用の計画について</p> <p>(9) その他</p>
決 定 事 項	<p>2 (1) 文化財保護審議委員会の運営について 条例及び施行規則にもとづいて運営を行っていくことと、情報公開に当っては委員の氏名及び正副委員長の氏名を開示していくことを確認した。</p> <p>2 (2) 正副委員長の選出 委員の互選により、委員長には枝窪邦茂委員、副委員長には鹿島英明委員が選ばれた。</p> <p>2 (4) 議 題</p> <p>(7) 平成 2 5 年度文化財保護事業及び活用状況の報告について</p> <p>(1) 平成 2 6 年度文化財保護事業及び活用の計画について 豊岡教会の改修箇所について確認することになった。</p> <p>(9) その他 新規指定に向けた調査研究を続ける。新規指定の候補となる文化財を調査票によって把握する。 市制施行 5 0 周年記念事業として指定文化財を紹介する冊子製作と展示を企画している。委員会としても協力して事業を進めていく。</p> <p>2 (5) 報 告</p> <p>(7) 新規指定文化財の指定について〔資料 5〕</p> <p>(1) 市指定文化財「斉藤家のドウダנטツツジ」の状況について 樹勢が弱っているが入間市で一番古いドウダנטツツジであるので、管理方法を検討しながら指定を続ける方向で所有者と協議していくこととした。</p>

会 議 録 (3)

発言者	発言内容
	<p>2 (4) 議 題</p> <p>委員長 事務局</p> <p>○ 平成 2 5 年度文化財保護事業及び活用状況の報告について、平成 2 6 年度文化財保護事業及び活用の計画について、事務局からお願いします。</p> <p>○ 資料 2 のとおり、文化財保護を行いました。また、指定するだけでは市民の皆様に価値が伝わらないということがありますので、様々な事業を行いました。講座、お茶大学、説明板の設置・修繕、文化財防火演習、「こけーら文化遺産発掘隊」等です。特に一番大きな事業であったのが「西久保観世音の鉦はり」の映像記録製作事業です。また、旧石川組製糸西洋館の公開については来館者が非常に多い年でした。また、修繕工事も多く行いました。また、平成 2 6 年度の事業計画については資料 3 のように引き続き指定文化財の保存事業の補助や講座など計画しております。</p> <p>委員</p> <p>○ 西洋館の活用については努力されていると思います。グッズの販売や使用料によって収入を確保し、効果的に保存活用されていると感じます。富岡製糸が世界遺産になり、製糸ということで注目が集まると思うのでそれも視野に入れて考えていくこともよいと思います。また、豊岡教会については、指定文化財にする候補としてこれまで話をしてきましたが、改修工事で外観がずいぶんきれいになっていました。中は変わっていないのでしょうから、今後も守っていくべきだと思います。</p> <p>事務局</p> <p>○ 豊岡教会については、外観が変わり、前の面影がなくなっていました。リニューアルされてしまったものに指定の価値があるのか、この委員会でご意見を頂いて事務局として動いていきたいと思っています。</p> <p>委員 事務局</p> <p>○ 外観の色はずいぶん変わってしまいました。</p> <p>○ 今回、改修の際に創建当時の壁の色が一部に見られ、昔の塗装の色は白色だったのではないかという話も聞いています。</p> <p>委員</p> <p>○ この委員会の力が及ばなかったのが残念です。窓ガラスも古い椅子もなくなってしまい、国の登録文化財にする価値があると思っていましたが、その価値も低下してしまいました。早いうちに市指定文化財としての理解を得られていれば良かったと思います。</p> <p>委員</p> <p>○ 今までの経緯の中で現状がこうである、今回のリニューアルでどう変わったのか把握しておく必要があります。改修は所有者の意向で仕方ありませんが、構造的、設計的に変更されたところを行政で把握しておいてほしいと思います。お願いします。</p> <p>事務局</p> <p>○ 豊岡教会の改修内容については、確認していきます。椅子、ガラス等の一部は博物館で資料として収蔵しています。</p>

会 議 録 (4)

発言者	発言内容
委員長 事務局	<p>○ では、次の議題に移ります。その他について事務局からお願いします。</p> <p>○ この一期2年の進め方について事務局案を提示しますので、その後、ご意見を頂きたいと思います。資料4にある指定文化財の一覧のとおり、市指定が67件、国県指定、登録を含めると73件というのは市にしては多い方です。多いからといって指定しないというものではないので、新規指定について調査研究をしていくのは今後も必要だと考えています。過去の調査票は委員の皆様へ配布してあります。これに載っていないが調査の必要のあるものをこの調査票にご記入の上ご提出ください。</p> <p>2点目としまして、文化財を活用していくことも大きなテーマとして挙げたいと思います。市制施行50周年記念事業として指定文化財を紹介する冊子と展示の2本立てで考えています。冊子の執筆や展示方法などについても委員の皆様にご協力頂けるとよいものになると思いますのでお願いいたします。</p>
委員 事務局	<p>○ 新しい指定文化財について事務局では何か候補はありますか。</p> <p>○ 事務局では今白紙の状態です。</p>
委員	<p>○ 指定候補についてこの場で言ってもよいでしょうか。蓮華院の千手観音像がまだ指定になっていないので候補にしたらよいと思います。また、先日入間市博物館で発見された県内最古の銘がある古今雛も候補にするとうよいと思います。</p>
委員	<p>○ 蓮華院は観音堂が指定になっていますが仏像については指定になっていません。その経緯はどのようなものなのでしょうか。</p>
事務局	<p>○ 観音堂を指定した時点ではまだ仏像の存在を認識していなかったためです。その後、仏像調査実施があり、それから注目され始めました。</p>
委員	<p>○ 寺院建築では、どのくらいが古く貴重であるかの目安となりますか。</p>
事務局	<p>○ 年代の目安としては、江戸中期から後期の始めくらいです。年代だけでなく特色のある建築様式は価値が高いと思われます。</p>
委員	<p>○ 東光寺の本堂は建築としては古いのですが、屋根を変えたり、改修が行われています。もったいないところもあります。</p>
委員	<p>○ 本堂は人が集まる所なので壊れたら直さないと使い道がなくなりますので、よく改修される所だと思います。また、この冬の雪害のように、建造物は天候によって被害を受ける場合があります、今後そのような被害が増えてくる可能性もあります。</p>
事務局	<p>○ 指定になると修理の時に届出手続きが必要になるので、寺院の本堂の場合は檀家さんたちの理解が必要になります。すぐに指定ではなくても、調査票でおさえておくことが大事だと思います。</p>
委員	<p>○ 不動院で勝海舟の書いた幟があり、祭礼の時には雨でも外に出しています。それはいいのでしょうか。</p>

会 議 録 (5)

発言者	発言内容
<p>委員長 委員 事務局</p>	<p>○ 幟は原書があればいくらでも再調できます。三輪神社で持っている幟の原書が指定文化財になっています。 ○ 調査しておくのは大事なことです。 ○ 幟については調査したことがあり、「入間市の幟」という刊行物にまとめています。そういった過去に調査したものからも指定に相応しいものを拾い上げてご推薦頂きたいと思います。</p>
<p>委員長 事務局</p>	<p>○ では、報告に移ります。(ア) 新規指定文化財の指定について事務局からお願いします。 ○ 「春日神社本殿付棟札」「野田山王塚石造物群」については平成26年6月1日付で指定文化財とされました。「重關茶場碑及び重建茶場碑」の追加指定及び名称変更につきましては所有者と協議の上、重建茶場碑の上部に『茶場後碑』と彫ってあるため、茶場後碑と呼ぶ方がわかりやすいということで、「重關茶場碑及び茶場後碑」として名称変更することとしました。「霞川段丘崖斜面希少植物群落」につきましては、指定後の管理についてなど所有者と協議を重ねたうえで指定の手続きを進めます。</p>
<p>委員長 事務局 委員</p>	<p>○ 次に、(イ) 市指定文化財「斉藤家のドウダンツツジ」の状況について、報告をお願いします。 ○ 指定文化財「斉藤家のドウダンツツジ」が枯れてきてしまっているという所有者の方からの連絡を受け、樹木医、柳澤委員と現地確認をしてきました。柳澤委員より報告をお願いします。 ○ 斉藤家のドウダンツツジを見てきました。木はすごく古く、枯れている枝や元気な枝、いろいろあります。所有者の方とお話する中で、所有者の心情としては、指定文化財ということで見に来てくださるのに枯れかかって見栄えが悪いのは恥ずかしいというのがあるように感じました。弱っていますが入間市で一番古いドウダンツツジであることに変わりはなく、指定文化財として継続していきたいというのが私の意見です。所有者の方は悩んでいる様子でしたので、枯れた枝は切ってよい、など、所有者の方が管理したいように管理していいですよ、として一緒に考え、これからも指定文化財としてこのドウダンツツジが生きていってほしいと思います。また、ドウダンツツジという種についても調べてみました。ドウダンツツジは江戸時代にはすでに庭木として使われていたようです。この辺の自然の中にはドウダンツツジはありません。見つかった記録のある所は高知県の山、静岡、愛知、三重、鹿児島という飛び地的な分布で、蛇紋岩質の所に生えているようだとなりました。入間市にあるということは、元を辿ると外国から来たドウダンツツジかもしれません。</p>

会 議 録 (6)

発言者	発言内容
事務局	○ 事務局としても柳澤委員の意見のとおり指定を続けて元気になってほしいという意見です。委員の皆様にご意見を頂きたくお願いします。
委員長 委員	○ 今の件についてご意見をお願いします。 ○ 柳澤委員、事務局の意見に賛成です。命ある限り見守るということでよいと思います。
委員 委員長	一同賛成 ○ では、指定を続けるという方向で、所有者の方と協議をしていくこととします。その他、何かありますか。
事務局	○ 情報です。西久保観世音で60年に一度のご開帳があります。日程は平成26年8月16, 17, 18日です。
事務局	○ 次回の委員会は10月下旬を予定しています。

事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成 年 月 日

議 長 の 署 名 _____

議長が指名した者の署名 _____